

# しんにちは つるおか

No. 106

## 写真の可能性にひかれて

さとう ときひろ  
佐藤 時啓 さん



美術家、写真家。東京藝術大学美術学部教授。懐中電灯や鏡を用いて光の軌跡を写真に描き出す作品で国内外から高い評価を得る。平成26年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。鶴岡市合併・市制施行10周年 鶴岡アートフォーラム開館10周年記念特別展覧会・市民交流プログラム「佐藤時啓 - TSURUOKA, 2015 -」の作品制作のため来鶴。山形県出身。

自分が一番夢中になれること、それは「体を動かして何かを創ること」です。生まれ育った町・酒田の映画館や図書館に高橋剛氏の彫刻が展示されていたのですが、その彫刻に憧れていたことも影響したのかもしれない。高校生の頃は、絵を描いたり彫刻を創ったりしていました。そして得意なことを続けていこうと大学に進学し彫刻を専攻しました。

古典から現代までの彫刻を学び、画廊などで作品を発表してきましたが、「彫刻とは何だろう」と悩むこともありました。彫刻以外の方法で自分を表現したいと考え、学生時代から趣味にしていた写真に着目しました。ある夜、カメラのシャッターを開いたままにして、手に持った懐中電灯で光の線を暗闇の中に描く実験を行ったのですが、現像された写真を見て驚きました。自分の目に見えていた像と全然違う像が現れていたのです。

これがきっかけで「写す」ことに関心が高まり、様々な撮



撮影の様子（4月23日／致道博物館）

影技法を用いた作品制作に取り組んでいます。

自分の体を動かして作品を創っていく感覚は、彫刻も写真も同じです。ただ写真はカメラという機械を通すので、自分の想像を超えた新しい発見に出会えることがある。写真の一番面白いところですし、目に見えているものとカメラで写されるものとの「ずれ」の中に、表現の可能性があると考えています。カメラの性能も向上していますので、いろいろなことに挑戦していきたいですね。

7月18日㊥から8月23日㊦まで鶴岡アートフォーラムで開催する同展覧会では、市民の皆さんと5回にわたる町歩きで面白いものを見付け、撮影した作品を展示します。晴れたり雨が降ったり、ふふいたりした中で撮影し、どれも印象深い写真になりました。鶴岡だと分かる写真もあれば、分からない写真もありますので、住み慣れたまちの風景を通して、新しい魅力に触れることができると思います。同展覧会に足を運んでもらえたらうれしいです。

調査の上、補助対象となるか判定します。申込みの前に本所建築課 ☎内線 484 へご連絡ください。

**A** 危険ブロック塀の解体費の補助制度があります  
本市では、特に地震などの災害時における児童の安全を確保するために、「スクールゾーン内危険ブロック塀等除却促進事業」を実施しています。これは、小学校の通学路等に面し、地震時に倒壊するおそれがある危険ブロック塀・石塀等を解体する際の費用を補助する制度です。

**Q** 危険なブロック塀について  
近所の家のブロック塀が古くなり、破損しています。近くの小学校の通学路に面しているため、地震が起きて崩れたら、子供がけがをするのではないかと心配です。住民の皆さんの安全のためにも、できれば所有者が自主的に点検・整備をしてほしいと思います。

# 声

voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。  
◎送り先 本所総務課  
☎25 - 2111内線316

# スクールライフ!

鶴岡市にある10校の高等学校と高等専門学校。  
その学校ならではの取り組みや活動を生徒・学生が紹介します。

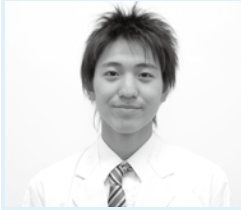
## No. 8 目指せ! グローカルエンジニア/鶴岡高専



貢献活動の一環として「飛鳥テクノパラメディック(技術の救急隊)」を毎年実施。酒田市飛島の住民の生活用品を修理している

〔学校概要〕 ○創立…昭和38年 ○5年間の一貫した技術教育で準学士(工学)の学位を取得でき、その後2年間の専攻科を経て学士(同)の取得も可能 ○平成27年度に、全員が「創造工学科」に入學し、2年生で専門コースに分かれる新制度がスタート ○地域

### ☆実験・実習プログラム ~次世代の技術者を目指して~



紹介者  
池田 尚平さん  
(物質工学科2年生)

物質工学科では、物質の成分や元素の種類分析、DNAを使うバイオの実験などをします。実験には結果を予測して臨みますが、予測と違った結果になった場合はレポートを作成して、原因をしっかりと分析することが大事です。また、実験では危険な薬品を扱うことが多いので、先生の指示をきちんと聞くように心掛けています。

私の夢は、Spiber(株)が開発した「QMONOS」のような、世界に通用する新素材を開発することです。いろいろな実験をすることでレベルアップして、夢を叶えるために頑張っています。



物質工学科の実験

私には、月面の環境に対応するロボットを創りたいという夢があり高専に入りました。

機械工学科では、旋盤やフライス盤など、たくさんの機械を使った実習をします。学年が上がるにつれて使える機械が増えていくので楽しいです。でも、操作を誤るとけがにつながることもあるので、注意して実習に臨んでいます。

高専の卒業生の就職率が高いのは、企業のニーズに応えられる技術者が多いからだと思っています。私も先輩たちのような技術者になれるように、更に技術を磨いて、夢に向かって進んでいきたいです。



紹介者  
足達 瑛さん  
(機械工学科2年生)



機械工学科の実習

### ☆国際交流 ~世界で活躍できるエンジニアを目指して~



紹介者(左から)  
本間 海斗さん  
(物質工学科2年生)  
伊藤 千紗さん  
(物質工学科2年生)

今年3月、私たちはシンガポールに16日間の語学研修に行って、協定校での英語の授業や学生との交流、現地の日本企業の見学などをしました。授業では、自分たちで決めたテーマについて発表するのですが、伝えたいことを英語で発表するのは大変でした。でも、現地の学生とのコミュニケーションはとても楽しかったです。

この研修に参加したことで、もっと英語の力を身に付けたいと思いました。そして、将来、世界で活躍できるエンジニアになるために、これからも海外のことを勉強していきたいです。



シンガポールでの語学研修

- ◆補助対象 調査において危険と判断されたブロック塀等で、道路からの高さが1m(擁壁上に設置してある場合は60cm)を超えるもの
- ◆補助金額 次のうちいずれか低い額(上限8万円)
  - ▽解体に要する工事費の2分の1の額
  - ▽ブロック塀等の解体面積に4、000円を乗じた額
- ◆申込み 12月28日①まで本所建築課へ(予算の範囲内で実施するため、期限内に終了する場合あり)
- ブロック塀等の私有財産は所有者の責任で管理するのが基本です。日頃から危険箇所がないか点検するなど、地域の安全を守るためにご協力をお願いします。
- 地震に強いまちづくりを推進するため、本市では「木造住宅耐震診断事業」も実施しています。
- ◆補助対象 昭和56年5月31日以前に着工されたことを証明できる、在来軸組工法による木造2階建て以下の戸建住宅(その他要件あり) 先着15戸
- ◆個人負担額 1万3、000円(診断費用13万円のうち9割を市が補助)
- ◆申込み 12月28日①まで本所建築課へ